

(公) 公的サービス
(民) 民間サービス

読者の方からのご要望を受けて、私たちの地域にはどのような「高齢者の見守りサービス」があるか、一部ですがまとめてみました。独居生活に不安を抱えている高齢者の方は多いと思います。介護保険サービスの利用も独居高齢者の見守りに繋がるのでは、と考えます。下記の公的機関、民間サービスをご参考にして頂ければと思います。

- | | | |
|--|---|---|
| (公) 社会福祉協議会
おももりネット
愛の一声訪問事業
日常生活用具給付等事業
緊急通報体制整備事業 など | (公) 民生委員
(公) 松山市見守りネットワーク
(公) 愛媛県居住支援協議会
(公) 警察(パトロール) | (民) 民間警備会社
(民) 民間サービス
新聞配達
配食サービス など |
|--|---|---|

虐待防止について

高齢者と家族の幸せのために

— 地域住民だからできる高齢者虐待防止の取り組み —

地域には必要な支援を受けることができず、人権、生活、健康などが守られていない高齢者がいます。大きな問題が発生する前に支援するためには、地域住民の皆様からの情報提供が不可欠です。

下記のような高齢者に気づいた場合には、

ぜひ、松山市役所・地域包括支援センターなど高齢者虐待対応相談窓口にご相談ください。

ご近所に、気になる高齢者はいませんか？

該当する項目が多いほど、支援の必要性が高い状態です。

- 暴力を受けている、怒鳴られる、年金を取られるなどと訴えている
- あざや傷があるのに理由を聞いてもはっきりしない
- 家族が介護でとても疲れていたり、高齢者の悪口を言っている
- 介護や病気について相談する人がいないようだ
- 一人暮らしや高齢夫婦世帯で、最近、姿を見かけなくなった
- 高齢者を訪ねると家族に嫌がられたり、会わせてもらえない
- 昼間でも雨戸がしまっている
- 家の周囲にゴミが放置されたり、異臭がする
- 郵便受けが新聞や手紙で一杯になっている
- 家から怒鳴り声や泣き声が聞えたり、大きな物音がする
- 暑い日や寒い日、雨の日なのに高齢者が長時間外にいる
- 高齢者が道路に座り込んだり、徘徊していることがある
- 介護が必要なのに、サービスを利用している様子がない
- 高齢者の服が汚れていたり、お風呂に入っている様子がない
- 最近、セールスや営業の車が来るようになった
- 家族がいるのに、いつもコンビニなどで1人分のお弁当を買っている姿が見られる

- 地域包括支援センターでは、出張相談・介護予防教室・認知症ケア向上事業を行っています。
- 最新の開催情報は松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後までお問い合わせください。

Instagramもご覧ください
閲覧はこちらから→



お問い合わせ先・発行者

松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後
松山市持田町1丁目3-30 シェーンブルン持田1F
TEL 089-993-5666(月~金 8:30~17:15)

サブセンター五明・伊台・湯山
松山市末町甲9-1 愛媛県在宅介護研修センター3F
TEL 089-993-5661(月~金 8:30~17:15)

地域包括
支援センター
だより

まちかど通信

令和7年
6月

【発行者】 ■松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後 ■サブセンター五明・伊台・湯山
【担当地区】 湯築・桑原・道後・五明・伊台・湯山

認知症サポーター養成講座

令和7年2月20日に白水台にあるカフェ「風の舞」さんで認知症サポーター養成講座を開催しました！

in 喫茶 風の舞

地域包括支援センターでは、認知症になっても暮らしやすい社会づくりのため、地域の方々に認知症に対する正しい知識や理解を深めていただくための活動として、認知症サポーター養成講座を行っています。

今回、松山市社会福祉協議会と共に白水台にあるカフェ「風の舞」さんにご協力をいただいて、認知症サポーター養成講座を行いました。

当日は常連のお客さんや地域の方に参加していただきました。参加していただいた方のお声として、事前に学んでいたことで近所で見かけない方を保護できたという事例や、警察の方へ繋げる事ができたという事例を伺うことができました。会の最後に、今後も地域で認知症の方を見守っていこうというお声もいただけたため、サポーターの輪が引き続き広がってほしいと思っています。



社協と合同開催の認知症サポーター養成講座となりました！ 社協からは高齢者のおももりネットに関するお話がありました。



今回、会場を提供していただいた風の舞のオーナーさんにも参加いただき、認知症についての学びを深めることができました。



熱心にメモをとられている方もいらっしゃいました。



クリップボード、いいですね〜！

「チームオレンジ」とは

「認知症」と診断を受けたあと、心理面・生活面の早期からの支援として、地域において把握した認知症の方や家族の悩みをはじめとした身近な生活支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ取り組みのことです。認知症になっても地域の一員として役割を持ちながら社会参加できる場や、認知症サポーターの活躍の場づくりをしていきたいと考えています。



テーマを決め、チームオレンジ正円寺のみんなで協力して作業をされています。



昔ながらのかまど炊きのご飯、最高ですね！



竹の子ご飯の炊き上がりをまだかまだかと待っています。

正円寺での様子(令和7年4月23日)

チーム!

湯築・桑原・道後

令和6年度 地域ケアセンター会議

〔日 時〕 令和7年3月21日(金) 19:00~20:30

〔場 所〕 愛媛県社会福祉協議会 4F 円卓会議室



当包括圏域の相談医、民生児童委員協議会会長、主任ケアマネジャー、松山市役所防災危機管理部、松山市基幹型包括支援センター、松山市社会福祉協議会をお迎えし、防災に対し自助力を高めるとともに、地域で支える仕組みを構築できるよう話し合いを行いました。ローリングストックやマイタイムライン、地域の繋がり活性化など、活発な意見交換会となりました。

◎当日の流れ

1. 開会あいさつ
2. 圏域会議報告
平野部（湯築・桑原・道後地区）
「ゴミ出し問題について考える」
山間部（五明・伊台・湯山地区）
「防災の自助力を高めるために」
3. 発 表
「防災に関する当センターの活動について」
4. 意見交換
5. 助 言
6. 防災川柳結果発表



防災川柳受賞者
豪華景品はこちら!



防災川柳受賞 厳選6句



👑	最優秀賞	はよおにげ	大事な物は	命です	松山市	久保	洋子様
👑	優 秀 賞	想定外	知識積もれば	想定内	松山市	堀内	崇 様
👑	優 秀 賞	防災は	日頃の日々の	積み重ね	今治市	南條	徳寛 様
👑	入 選	備えよう	背中に背負う	我が未来	伊予市	仲田	香月 様
👑	入 選	知っててね	隣は独居の	おばあちゃん	松山市	谷岡	尋美 様
👑	入 選	備えよう	心構えと	防災グッズ	伊予市	平田	正俊 様

松山市市民防災安全課 奥宮氏より

ローリングストックについて

災害や緊急事態に備えるために、非常食や生活必需品の備蓄は欠かせません。しかし、ただ備蓄するだけでは、有効期限が切れて無駄になってしまうことがあります。そこで、お勧めするのが「ローリングストック」です。

ローリングストックとは、日常的に使う食品や生活必需品を一定量備蓄し、消費した分を都度、補充していく方法です。

この方法を採用することで、賞味期限切れなどを防ぎつつ、備蓄食料の鮮度を保つことができます。例えば、米、パスタ、缶詰、レトルト食品、乾麺、飲料水など、保存期間の長い食料品を一定量ストックしておきます。そして、日常的に使う際には、新しいものを常に後ろに追加して古いものから消費します。

また、調味料やトイレトペーパー、電池などの生活必需品も同様に管理することをお勧めです。

非常時には様々な物資が品薄になることも考えられます。ローリングストックにより、万が一の事態にも冷静に対処できる準備を整えましょう。



垂直避難について

近年、台風や豪雨による河川氾濫などの自然災害が増加していて、垂直避難の重要性が高まっています。垂直避難とは、水害が迫った際に、建物の上階や高台へ避難する行動です。

特に迅速な行動が求められる状況では、垂直避難が命を守るための有効な手段になります。

洪水時、自宅で垂直避難を検討している方は、自宅の浸水の深さを「まつやま総合防災マップ」などで確認し、垂直避難が有効かどうか確認しておくことが大切です。

また、長期間、上階で生活しなければならなくなる可能性があるため、上階に備蓄をしたり、非常用持ち出し袋を準備したりすることも大切です。

なお、自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域にある場合は、河川氾濫により、家ごと流される場合があるため、事前に避難所等に避難しましょう。

災害時に適切な対応がとれるように、日頃から、どのような避難行動を取るのか、意識して準備を進めましょう。

垂直避難

想定される浸水の深さよりも高いところに避難できる場合は、自宅の上階に移る。



もっと!まちかどZOOM IN!!



地域の居宅介護支援事業所やサービス事業所では、どんな人達が働いているんだろう？
微力ではありますが、地域に着目し日々お世話になっている地域の居宅介護支援事業所、
サービス事業所で働いている人達の魅力をお届けしたい！を目標にしてお届けしたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。



INTERVIEW
1

ウェルケア内科クリニック

下伊台町乙129番地9 Tel.089-909-9300

院長の野本高彦医師へインタビューさせていただきました。

◎白水台で開業に至った理由、動機について

先生の考える理想の医療とは？

東・中・南予の病院をはじめ、正光会今治病院に7年間勤務。もともと地域に帰りたい思いがあった。10年以上前まで白水台団地内にあったクリニックが閉院。コロナ禍にもこの地に病院は無く、ワクチン接種も困難な状況であった。白水台に縁があることから地域医療に貢献したい熱意で、この場所でのクリニック開院に至った。

◎診療内容について

専門科は循環器科。一般内科、風邪、発熱外来、アレルギーなどを中心に診療している。地域の方の生活習慣病予防に尽力したい。バスの便数も減り、車がないと生活が不便となり市内へ移られる方が増えていることから、気に入って住んでおられる伊台地区にずっといてもらいたい。このことから、往診の方にも力を入れていきたい。3月初旬から往診を始め、4月から

茶系で落ち着いた待ち合い室の雰囲気です。真新しく清潔感あり!!



はもう一人医師（一色医師）が増え、一色医師は訪問診療中心で往診、開拓中である。

◎医師になられた理由

高校時代に薬学部を目指していたが、小学校6年の頃、父親を癌で亡くした経験もあり愛媛大学医学部へ進路変更。松山赤十字病院時代に循環器科の福山医師という尊敬する医師に出会ったことから、循環器科を専攻するきっかけとなった。

◎往診の範囲（山間部の対応）と頻度 ※いつから？

基本的にはどこにでもではあるが、クリニックを受診される方で免許証返納などにより足のない方の送迎を伊台地区をスタートに今後は考えている。五明地区の方にも先日パンフレットを配布しているため往診を含めて今後、考えていきたい。



薬局が隣で便利です。駐車場が停めやすいですね。



笑顔いっぱいでお話ししやすい、アットホームな雰囲気です。

◎地域の住民を集めて講話などしていただけるか？

アカデミックなことを話すのではなく、言葉を砕いて話がしたい。

循環器疾患でお金をかけてカテーテル術やバイパス術を施行する方がいるが、運動が大切。心臓リハビリテーションをする事で予後が良好な結果が出ている。



先生のご友人の力作です。

併設薬局 ハッピー薬局

病院横には薬局も併設され、連携がとれて安心です！



気さくな感じでお薬の相談が気軽にできそうです。



VRで簡単にできるなんて。やってみたいですね！



ベテルケアプランセンター

祝谷6丁目1229番地 Tel.089-926-5575

質問内容

- ①CMとして心がけていること
- ②ベテルケアプランセンターをPR、言葉で言い表すなら?
- ③CMとしての目標
- ④個人の夢、目標
- ⑤健康のためにしていることは?

頼れる
ケアマネジャーさん
美女揃いですね~♪



管理者・主任ケアマネジャー 渡部 潤子さん

- ①とにかく傾聴
- ②その人らしさを大切にしたい支援
- ③利用者目線を常に持つこと
- ④予定のない旅行
- ⑤犬の散歩(夜ですが)、ストレッチ

主任ケアマネジャー 三舛 延子さん

- ①笑顔
- ②愛の精神
- ③利用者さんの笑顔の量産
- ④世界旅行
- ⑤登山

主任ケアマネジャー 高木 奈美さん

- ①その人らしく生活できるように関わらせていただくことです
- ②愛と奉仕の精神
- ③笑顔で元気に時間にゆとりを持って仕事をする
- ④徳島と沖縄で海ガメに会いたい
- ⑤愛犬とサンパ、マラソン

主任ケアマネジャー 石田 綾子さん

- ①利用者様やご家族様の生活や思いに寄り添った支援を心がけています
- ②愛の精神
- ③一人一人との出会いを大切に自宅で生活を支えていくお手伝いをさせていただきながら、共に元気に過ごせること
- ④四国八十八ヶ所参りと観光旅行
- ⑤ストレッチ、ウォーキング、ハイキング

主任ケアマネジャー 田中 留美さん

- ①相手が不快な思いをされないよう丁寧な対応を心掛けています
- ②母体が医療法人でホスピスケースの方も多いので医療に強い
- ③現状よりも少し先を見据えた支援ができるようになる
- ④お四国参り
- ⑤できるだけ階段を使ったり、歩くようにしています

ケアマネジャー 新岡 忍さん

- ①笑顔
- ②協力
- ③利用者の笑顔
- ④健康
- ⑤ラジオ体操

ダンディ センター長の つぶやき



日頃から包括職員を引っ張って下さっているセンター長は「どんなことを思っているのだろうか……?」ということで始まったコーナーの第2弾!
♡そっとなつぶやきを聞いてみませんか?

昨年度は、包括支援センター運営業務委託機関の募集があり、当センターについても引き続き(福)平成会が受託すべく応募しました。私個人としては初めての経験で、年度の後半はその作業に追われ、業務委託の指名が確定した時には、ホッとしました。

その過程で、実務の根底にある理論なり新たな考え方を改めて学ぶ機会を得たことにより、契約更新時には、昨年度とは一味違った気持ちになることができました。

特に、市が中心になって行う「重層的支援体制整備事業」を、包括としても複数の支援を必要とされる方々の伴走者として連携調整員を配置するなど体制としても強化し、協力していくこととしております。

そして、新規採用者など新たな体制も整いましたので、私も職員と一丸となって新鮮な気持ちで業務に当たりたいと思っております。地域の皆様におかれましても様々な行事や集いに積極的に参加されるなど、一緒になってこの少子超高齢化社会を乗り越えていきたいと考えておりますので、引き続き宜しくお願い致します。



包括支援センター

桑原・道後 TEL 089-993-5666

